

学校評価のねらい○学校教育目標の実現を目指した学校教育活動について、その成果と課題を明確にする。○評価結果より、学校教育活動の充実・改善に生かす。○外部評価（児童・地域・保護者）の実施により、評価の客観性を高める。○外部評価を公表することにより、学校・地域・家庭の三者で課題を共有し、それぞれの果たす役割を再認識する。

		評価の検討と実施	学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
中 間	4	・前年度の学校評価から、学校教育計画を立案する。		
	5	・評価委員会・評価項目の検討 ・自己評価カードの記入（教職員）とヒアリング	・学校運営協議会理事会（学校経営の基本方針等教育計画の理事への説明）	・学校経営の基本方針等配信（HP掲載） ・土曜参観
	6	・内外評価の共通理解 ・計画に基づく実践活動の自己評価と振り返り（学級経営案・自己評価カード・職員会議）		
	7	・保護者・地域・学校運営協議会理事、企画推進委員からの外部評価の実施。（アンケート調査・学級懇談会等） ・児童による振り返り		
	8	・学校評価の分析		
	9	・前期の自己評価に基づく後期の計画の立案。（学級経営の重点課題・各部署委員会の重点課題）		
	10	・後期の計画に基づく実践活動。	・学校運営協議会理事会（学校評価について）	・学校評価の分析と公表（学校だより・HP掲載）
	11			
	12			
	1	・計画に基づく実践活動の自己評価と振り返り（学級経営案・自己評価カード・職員会議）		
年 間	2	・保護者・地域・学校運営協議会理事からの外部評価の実施。（アンケート調査・学級懇談会等） ・児童による振り返り ・年度末自己評価の実施（学級経営案・自己評価カード・職員会議）	・学校運営協議会理事会（学校評価について）	
	3	・学校評価の分析（次年度の課題を探る。） ・校長による教職員のヒアリング		・学校評価の分析と公表（学校だより・HP掲載）